

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
 太平老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							R1 年度	R2 年度					
いきがいきづくり、教養講座運営事業		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	水彩画教室	13	24	第2・4月曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			19	265	19	102	新規6名のため、継続希望者はサークルへ移行していただいた。マスクの着用と、少人数(10名未満)、道具の共有は無いことで、講師とも相談しながら、6月から感染予防対策をし教室開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後に机や椅子の拭き消毒、一人一台の机を使用し、十分な距離の確保ができた。 <u>例年の作品展の代わりに、活動の様子として、教室風景を撮影し、展示したことで、来館者にPRできた。</u> 令和3年度は事業見直しに伴い、サークルへの移行をしていただく予定。
	1	健康麻雀教室	88	66	毎週火曜日 第2・4金曜日				64	1,988		中止	新規18名を含む80名の受講生のため、2つに分けて各教室にリーダーとなる方が中心となって行う予定だった。3密は避けられず、道具の共有があり、長時間で会話もあるため、感染予防対策は難しいと判断し、令和2年度の教室開催は断念した。 コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。 令和3年度も、受講生募集及び教室開催はしない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知した。
	1	絵手紙教室	20 (16)	24	第2・4火曜日				20	223	20	229	新規3名を含む16名の参加。マスクの着用、人数が20名未満、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談しながら6月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。 <u>教室前後に机や椅子の拭き消毒、一人一台の机を使用し、十分な距離の確保ができた。例年の作品展の代わりに、活動の様子として、教室風景を撮影し、展示したことで、来館者にPRできた。</u>

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
いきがいづくり、教養講座運営事業	1	習字教室	15	24	第1・3水曜日			22	304	21	237	新規9名を含む15名の参加。マスク着用、人数が20名未満、講師の指導のみの会話で、道具の共有が無いことで、講師と相談しながら6月から感染予防対策をし、教室を開催する。当初の会場は狭かったため、一人一台の机で利用できるよう、会場の変更をした。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後には机や椅子の拭き消毒し、十分な距離の確保ができた。例年の作品展の代わりに、活動の様子として、教室風景を撮影し、展示したことで、来館者にPRできた。
	1	ペン習字	15	24	第1・3水曜日			22	167	21	222	新規10名を含む18名の参加。マスク着用、人数が20名未満、講師の指導のみの会話で、道具の共有が無いことで、講師と相談しながら6月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後には机や椅子の拭き消毒し、十分な距離の確保ができた。例年の作品展の代わりに、活動の様子として、教室風景を撮影し、展示したことで、来館者にPRできた。
	1	中級健康麻雀	20	24	第1・3水曜日			22	379		中止	初心者健康麻雀教室からレベルアップで5名の申し込み者を含む20名の受講生で行う予定だった。3密は避けられず、道具の共有があり、会話もあるため、講師とも相談して感染予防対策は難しいと判断し、令和2年度の教室開催は断念した。 コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。 令和3年度も、受講生募集及び教室開催はしない予定。
	1	編物教室	14	24	第2・4水曜日			22	179	17	114	新規2名を含む11名の参加。マスクの着用、人数が20名未満、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談しながら7月から感染予防対策をして、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後に机や椅子の拭き消毒、一人一台の机を使用し、十分な距離の確保ができた。例年の作品展の代わりに、活動の様子として、教室風景を撮影し、展示したことで、来館者にPRできた。 令和3年度は事業の見直しに伴い、サークルに移行していたく予定。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							R1 年度	R2 年度					
いきがいづくり、教養講座運営事業	1	初めての麻雀教室	20	24	第2・4木曜日				22	304		中止	認知症予防の効果もあることから新規12名を含む21名の受講生で行う予定だった。3密は避けられず、道具の共有があり、会話もあるため、講師とも相談して感染予防対策は難しいと判断し、令和2年度の教室開催は断念した。 コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。 令和3年度も、受講生募集及び教室開催はしない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知する。
	1	男の料理教室	20	12	第2木曜日	仲間と楽しく料理作りを行うことによって、料理と栄養に関する知識の向上を目指す。			11	182		中止	新規5名を含む22名の受講生で行う予定だった。3密が避けられない、道具の共有があるため、講師と相談して令和2年度の教室開催を断念した。調理実習は難しいが、「栄養講座」という形で講師からの提案もあり、講座を企画した。 令和3年度も受講生募集及び教室開催しない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知する。
	1	唱歌教室	100	23	第2・4金曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。			22	1,424		中止	新規3名を含む79名の受講生で行う予定だった。隣の市で合唱サークルのクラスターがあった事、大人数で声を出す事で、講師と相談し、令和2年度の教室開催を断念した。コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。 令和3年度も、受講生募集及び教室開催はしない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知する。
	1	おじんの唱歌教室	30	23	第2・4金曜日				22	466		中止	新規2名を含む27名の受講生で行う予定だった。隣の市で合唱サークルのクラスターがあった事、大人数で声を出す事で、講師と相談し、令和2年度の教室開催を断念した。コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。 令和3年度も、受講生募集及び教室開催はしない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知する。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							R1 年度	R2 年度					
いきがいづくり、 教養講座運営事業	1	パソコン教室 (初級コース)	10	46	毎週月曜日	いきがいづくりとして就業 や生活に役立つ技術を 身につけてゆく。			37	474	40	340	新規3名を含む定員を超える11名の参加。マスクの着用と、少人数、道具の共有は無いことで、講師とも相談しながら、6月から感染予防対策をし教室開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後に机や椅子の拭き消毒、一人一台の机を使用し、十分な距離の確保ができた。初心者教室からレベルアップしたい人たちに、サークルを紹介した。令和3年度も引き続き、きっかけはパソコン教室で老人センターを知った方が多いため、単発事業、季節行事、他の教室等をPRし、参加に繋げる。
		小計		338					305	6,355	138	1,244	
		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	水彩わかば		24	第2・4月曜日						18	139	令和2年度からサークル活動開始。感染予防対策に協力していただいた。作品展がない代わりに活動風景を撮影して展示し、来館者にPRした。
	1	さざんか句会		12	第2火曜日				11	100	10	54	月に1回、和気あいあいと楽しく活動されている。感染予防対策に協力していただいた。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載する。
	1	水彩画水曜会		24	第1・3水曜日				22	149	17	94	感染予防対策に協力していただいた。作品展がない代わりに活動風景を撮影して展示し、来館者にPRした。
	1	習字サークル こぶし		24	第2水曜日 第4金曜日				22	122	20	93	教室が定員オーバーになった時にサークルの活動紹介に努めている。感染予防対策に協力していただいた。作品展がない代わりに活動風景を撮影して展示し、来館者にPRした。「いこい」等でサークルの紹介掲載し、呼びかけた。
	1	桔梗フォトクラブ		12	第3水曜日						9	130	令和2年度からサークル活動開始。感染予防対策に協力していただいた。作品展がない代わりに活動風景を撮影して展示し、来館者にPRした。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
いきがいづくり、教養講座運営事業	1	パソコン講座 すみれの会		47	毎週金曜日			46	477	41	426	初心者教室を経た方にサークルを紹介し参加を促した。感染予防対策に協力していただいた。「いこい」等でサークルの紹介を掲載し呼びかけた。
	1	小物作りサークル		24	第1・3金曜日			22	238	9	77	コロナウイルスの感染状況で活動を中止したり、再開された。感染予防対策に協力していただいた。
	1	詩吟サークル		24	第1・3金曜日			22	202	20	163	感染予防対策に協力していただいた。引き続き「いこい」等でサークルの活動紹介を掲載する。
	1	土曜表装		24	毎週土曜日			15	62	13	31	感染予防対策に協力していただいた。「いこい」にサークルの活動紹介を記載してPRした。会員は少数だが、今後も活動されることで、交流の場となっているため継続する。
		小計		215				160	1,350	157	1,207	
		計		553		13	13	465	7,705	295	2,451	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							R1 年度	R2 年度					
自立生活維持支援事業		教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	フラダンス教室	20	24	第2・4月曜日	各種運動を通じて、健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。			21	334	7	94	新規2名を含む17名の参加。マスク着用、人数が20名未満、講師の指導のみの会話で、道具の共有が無いことで、講師と相談しながら10月から感染予防対策をし、教室を開催する。1月、2月は感染拡大に伴い、講師から休講の申し出があり、3月は再開する。教室前後には椅子の拭き消毒し、ソーシャルディスタンスがとれるよう、椅子の配置を工夫し、十分な距離の確保ができた。 <u>老人センターまつりに活動の発表の場を企画していたが、教室内での披露に縮小して行った。</u>
	1	卓球クラブ	16	36	第1・2月曜日				18	266		中止	新規7名を含む18名の受講生で行う予定だった。3密は避けられず、道具の共有があるため、感染予防対策は難しいと判断し、令和2年度の教室開催は断念した。 コロナウイルスの感染状況をみながら、受講生へ一人一人電話連絡し、再開を心待ちにしてみえる方、この状況では難しいと諦めている方などそれぞれの意見を伺うことができた。
	1	バランスボールで目指せマリリンモンロー教室	20	24	第1・3水曜日				21	381	19	249	新規3名を含む21名の参加。マスク着用、人数が20名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談して7月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後には椅子の拭き消毒し、ソーシャルディスタンスをとるために、椅子の配置に工夫し、十分な距離の確保ができた。 <u>マスク着用のため、水分補給をする時間を設けたり、有酸素運動より、体幹を鍛えるメニューを増やしたり、脳トレを取り入れ介護予防につながっている。</u> エアコンプレッサーを使ってボールの空気を入れる作業など、ボランティアに準備、片付け等の協力を得ている。
	1	俺がやる俺のためのバランスボール教室	20	23	第1・3水曜日				21	305	18	185	新規4名を含む20名の受講申し込みがあった。マスク着用、人数が20名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談して7月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。感染拡大に伴い、退会したり、欠席が多い傾向がみられた。教室前後には椅子の拭き消毒し、ソーシャルディスタンスをとるために、椅子の配置に工夫し、十分な距離の確保ができた。 <u>マスク着用のため、水分補給をする時間を設けたり、有酸素運動より、体幹を鍛えるメニューを増やしたり、脳トレを取り入れ介護予防につながっている。</u> 令和3年度は、広報誌「ふれあい」や「いこい」への掲載や、引き続き、老人センターの新規登録者に声を掛けて参加を促す。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
自立生活維持支援事業	1	座ってガッツリ体操教室	25	24	第2・4水曜日			22	467	19	123	マスク着用、人数が20名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有が無いことで、講師と相談しながら6月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。受講生22名のうち、感染拡大の状況により、6月の参加者は半分に激減し、その後も減り続け、3月には参加者が6名となる。参加対象が高齢の方が多く、フレイル予防としてぜひ参加していただきたい方たちだっただけに、閉じこもりが心配される。 令和3年度は事業見直しに伴い、教室開催中止する。参加していた方には、他の教室への受講を案内する。
	1	ヨガ教室	40	24	第2・4水曜日			21	667		中止	新規3名を含む40名の受講生で予定だった。3密は避けられず、道具の共有があるため、講師と相談し、感染予防対策は難しいと判断し、令和2年度の教室開催は断念した。マスク着用、道具の共有なしで「自宅でする椅子ヨガ」を企画し、一人ずつ電話で連絡し、2回に分けて開催した。 令和3年度も受講生募集及び教室開催しない事を広報誌「ふれあい」に記載し周知した。
	1	男のヨガ教室	20	24	第2・4水曜日			21	392	20	257	新規1名を含む23名の受講申し込みがあった。マスク着用、人数が20名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談して6月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。感染拡大に伴い、退会したり、欠席が多い傾向がみられた。ソーシャルディスタンスをとるために、ヨガマットの配置に工夫し、十分な距離の確保ができた。マスク着用のため、水分補給をする時間を設けた。 令和3年度は、広報誌「ふれあい」「いこい」での掲載の他、老人センターの新規登録者に男性中心の教室でPRし、見学を呼び掛ける。
	1	軽運動教室	30	24	第1・3木曜日			22	453	17	190	マスク着用、人数が20名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談しながら7月から感染予防対策をし、教室を開催する。受講生23名のうち、感染拡大の状況により、8月の参加者は半分に激減し、その後も退会や欠席者があり、3月には参加者が9名となる。高齢の方が多く教室なので一人ひとりに電話連絡し、運動状況を聞いたりした。 令和3年度は事業見直しに伴い、教室開催を中止する。参加していた方には、他の教室への受講を案内する。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
自立生活維持支援事業	1	健康アップ 体操教室	60	45	毎週金曜日			42	1,791		中止	新規9名を含む58名の受講生で行う予定だった。3密は避けられず、道具の共有があるため、講師と相談し、感染予防対策は難しいと判断した。また、講師自身の体調の事で、今後の指導ができないことも重なり、令和2年度の教室開催は断念した。マスク着用、道具の共有なしで「自宅でできる運動」を企画し、一人ずつ電話で連絡し、2回に分けて別の講師を依頼し開催した。
	1	ピンピン100才を 目指す体操教室	30 (25)	24	第1・3金曜日					19	357	令和元年度単発事業として行った教室が好評だったため、令和2年度からの新規教室として男性8名を含む31名の申し込みがあった。4月の時点で感染拡大に伴い、6名の退会者があり、マスク着用、人数が25名程度、講師の指導のみの会話で、道具の共有を工夫してなくし、講師と相談して6月から感染予防対策をし、教室を開催する。4月～5月の休館時には道具類の消毒と受講生に電話で状況の確認と報告を実施した。教室前後には椅子の拭き消毒し、ソーシャルディスタンスをとるために、椅子の配置に工夫し、十分な距離の確保ができた。マスク着用のため、水分補給をする時間を設けたり、有酸素運動より、タオルを使った筋トレのメニューを増やしたり、脳トレを取り入れしっかり体を動かして、充実した時間を過ごされている。また、講師の熱心に指導されるのでとても人気が高い。
		計	—	272		13	13	209	5,056	119	1,455	
多世代交流事業		各種イベント	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	雑巾作り		1	4月2日	複合施設の利点を活かし、子ども、高齢者、障がい者等、誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		1	17		中止	コロナウイルスの感染拡大防止のため休館となり、事業の実施はできなかった。参加予定者には電話連絡で中止を伝える。感染状況や、見込み参加者の把握をし、令和3年度できる形で実施予定。
	1	七夕		1	7月2日			1	329	1	119	折り紙で織姫、彦星を折り、それぞれ個性ある七夕飾りを作成した。短冊には自分や家族の健康を願うものや、子供らしい将来の夢など、来館者に書いていただき、七夕飾りを楽しんでいただけた。 令和3年度も「いいい」の掲載や各教室に参加を呼び掛ける。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
多世代交流事業	1	でこぼこ夏祭り		3	8月3日 8月5日 8月7日			3	183		中止	不特定多数の参加者の見込みと、感染拡大の状況により行事を中止した。いつも参加して下さった方には中止の旨を伝え周知した。 令和3年度は感染状況をみながら、できるような形で計画していく。
	1	母子・父子福祉センター交流会		2	8月11日 13日			2	45	2	14	母子センターの預かり事業に参加している子どもたちとの交流を実施した。マスクの着用と、少人数(10名未満)、道具の共有をしないことで、一日目は「アクリルぼうき作り」と「雑巾作り」を行った。二日目は「スポンジボール」を作り、子どもたちと高齢者がペアになり「的当てゲーム」をチーム対抗戦で行いました。少人数でも距離をとり、声掛けや励まし会ったりして、楽しい交流となった。
	1	でこぼこ大運動会		1	10月1日			1	42		中止	不特定多数の参加者の見込みと、感染拡大の状況により行事を中止した。いつも参加して下さった方には中止の旨を伝え周知した。 令和3年度は感染状況をみながら、できるような形で計画していく。
	1	秋のミニ作品展		1	10月20日～ 11月11日					1	42	例年の市内福祉施設にも協力いただいて開催していた「ふれあい作品展」は不特定多数の参加者のため、開催中止の案内を周知した。コロナ禍でも感染対策をして、障がい者センター、母子父子福祉センターと合同で「秋のミニ作品展」を展示した。 令和3年度も教室やサークルの活動紹介やPRと共に開催予定。
	1	花餅作り		1	12月24日			1	36	1	24	太平児童センターの親子と老人福祉センターの利用者で梅の枝に手先で丸めた赤・白・緑のお餅を等間隔につけ、季節行事を通して和やかな雰囲気での交流ができた。高齢者はマスク着用、道具の共有なしで、ソーシャルディスタンスをとるために、机の台数を増やし、感染対策をして行った。 令和3年度も引き続き広報誌「いこい」への掲載や、各教室へ参加を呼びかける。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
多世代交流事業	1	新春伝承遊び		1	1月5日			1	256	1	46	感染拡大防止のため、琴の演奏や、お茶お花サークルさんによる抹茶をたてていただくことを中止し、規模を縮小して太平児童センターの幼児親子や子どもたちと伝承遊びをした。また絵馬かけを設置し、今年の抱負や願い事を書いてもらい、季節行事を通じて交流を図ることができた。令和3年度もできる範囲で工夫して企画する。
	1	卓球大会		1	3月29日				中止		中止	感染拡大状況と3密が避けられないため、行事の中止をする。令和3年度は、児童センターの子供たちと、老人福祉センターの利用者との交流の場をニーズに応じて企画していく。
		計	—	12		13	13	10	908	6	245	
地域交流事業			定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	わいわい教室		31	木曜日	誰もが参加できるように事業を開催し、利用者間交流を図る。季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防する。		28	251	27	152	老人福祉センターの職員が講師を務め、認知症予防や、仲間作りを目的に季節の折り紙や工作を作成する教室。感染状況で参加者は激減したが、教室前後の机や椅子の拭き消毒、マスク着用、少人数で(10人以下)、ソーシャルディスタンスをとり、道具の共有を工夫してなくし感染予防対策をしながら行った。当日参加も可能とし、娯楽室利用者に声掛けをしたり、老人センターの新規登録者には見学を勧め、参加を促した。簡単なストレッチをしたり、日常生活で気を付ける事などの資料を参考に皆で話し合ったりして工夫した。令和3年度は「いこい」に紹介記事を掲載する。
	1	敬老週間		1	9月11日			1	367		中止	感染状況により、不特定多数の方の参加見込みがあるため、行事を中止する。令和3年度は利用者のニーズに応じて企画していく。
	1	健康麻雀大会		2	10月6日 3月9日			2	78		中止	感染拡大状況と、3密が避けられないこと、「健康麻雀教室」の開催していないため、行事の中止をした。令和3年度は利用者のニーズに応じて企画していく。
	1	ふれあい作品展 (多世代交流へ)		1	11月5日～ 12日			1	1,716			例年の市内福祉施設にも協力いただいて開催していた「ふれあい作品展」は不特定多数の参加者のため、開催中止の案内を周知した。コロナ禍でも感染対策をして、障がい者センター、母子父子福祉センターと多世代交流事業として「秋のミニ作品展」を展示した。
	1	楽友会コンサート		1	12月27日			1	109		中止	感染拡大状況と、不特定多数の参加者があり、3密が避けられないため、行事の中止をした。令和3年度は利用者のニーズに応じて企画していく。

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
事業	1	老人センターまつり		1	3月8日～11日				中止	1	114	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催した。いずれもソーシャルディスタンスが確保できる参加人数のため、「密集」「密接」を避けることができた。 令和3年度は感染状況をみながら、できるような形で計画していく。
	1	多悠連合同作品展		1	2月16日～18日			1	629		中止	多治見市悠光クラブ連合会の会員による手作り作品と、老人福祉センターで開催している教室やサークルの作品を展示していたが、感染拡大の状況と、不特定多数の参加者があるため、多悠連さんと話し合い、開催を中止した。老人福祉センターとしては、開催している教室やサークルに呼びかけ、活動風景を撮影して展示し、来館者にPRすることができた。 令和3年を度もできる範囲で活動のPRをする。
		計	—	38		13	13	34	3,150	28	266	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
個人利用		各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	血圧測定				誰もが自由に訪れ、憩い、楽しめる空間づくり、仲間づくりができる場を提供する。			7,724		222	5月14日岐阜県が緊急事態宣言の区域から外れたことにより5月25日から「3密を避ける」等感染予防対策を実施した。利用者には「マスクの着用」「手指消毒」「受付票の記入」を協力していただき、人との距離を確保できるよう貼り紙や、声掛けで周知していただいた。囲碁将棋は対面なので、斜めに座っていただき、1メートル以上の距離をとって対戦していただくよう机や椅子の配置に工夫した。また、定期拭き消毒、囲碁の碁石や碁盤の洗浄消毒、ヘルストロンのカバー、座布団を洗濯した。感染状況や天候により利用者数が減る傾向にあるものの仲間作りの場となっている。
	1	カラオケ							845		廃止	
	1	ヘルストロン							13,132		6,083	
	1	運動器具							1,963		0	
	1	囲碁・将棋							1,872		1,465	
	1	ビリヤード							963		624	
	1	その他							7,921		440	
		計	—	—			10	—	34,420		8,834	
老人クラブの支援		各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	多悠連理事会		1	偶数月第3金曜日	多治見市悠光クラブ(多悠連)の事業が円滑に行われるよう連携を図る。		6	148	2	51	多悠連の事業に参加・協力し連携を図った。事業の実施にあたり、必要に応じて指導・支援を行った。社協が地域福祉事業を推進していく中で、関係団体の1つとして連携を強化している。令和3年度も引き続き、できる範囲で協力対応する。
	1	多悠連総会		1	5月14日			1	98		中止	
	1	スポーツ大会		1	11月5日			1	237	1	145	
	1	多悠連演芸大会		1	9月26日			1	117		中止	
		計	—	4			10	10	9	600	3	196

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R1 年度	R2 年度					
各種相談事業		各種相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	各種相談事業			随時	高齢者の生活や健康に関する相談に応じ、適当な援助、関係機関と連携を図っていく。			42		39	老人福祉センターはどのような利用ができるのか、教室や仲間作りなど出来る場はないかとの問い合わせが多かった。中でも本人より、家族が相談に来る方もあった。施設の案内と共に、気軽に参加できる教室や、季節行事や、O85単発事業などの紹介して利用につながるよう努めた。 一人暮らしの不安や、介護に関する相談や申請などの相談は地域包括支援センターや関係部署とも連携を取りながら対応した。
		計	—	—			11	11	42		39	
生業及び就労支援事業		相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	高齢者就業相談		12	第2金曜日	高齢者の生業及び就労等について指導を行う。		11	7	10	8	毎月1回、相談日を設け、シルバー人材センターの協力を得て相談事業を実施した。直接に職業の斡旋することはできないため、シルバー人材センターやハローワークの紹介に留まっている。広報に記載し、相談日の周知に努める。 相談日には利用者にわかりやすい様、エレベーター前に案内掲示することで、気軽に利用された。 ※4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止策で休館のため中止
		計	—	12			10	10	11	10	8	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		令和元年度の実施状況		令和2年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
						R1 年度	R2 年度						
独自事業		その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	2	チャレンジ			随時	様々な企画を提供する中で、老人センターのPR及び教室の立ち上げに繋げていく。			7	146	8	108	利用者アンケートや、高齢者の関心が高い事など単発事業にて実施。「いこい」の掲載や、各教室へ呼びかけ募集を行った。初めて老人センターを利用される方や、年間通じては続けて参加できない方に案内し参加してもらうことで、老人センターのPRや仲間作りのきっかけになった。 「フレイル予防教室」と「椅子ヨガ教室」は大人数で道具の共有があるため、3密が避けられず開催が難しいため、講師と相談して、コロナ禍で自宅できる運動教室を企画した。募集は開催予定だった受講生(延べ98名)に一人ずつ電話連絡した。マスク着用、教室の前後には椅子や道具(CDラジカセやピンマイク)の拭き消毒、ソーシャルディスタンスをとるために椅子の配置に工夫し、道具の共有なしで実施した。 6月 園芸教室 10月 フレイル予防教室(2回) 椅子ヨガ教室(2回) 園芸教室 干支作り 12月 園芸教室
	2	終活応援			随時	これまでの人生を見つめ、また、これからの人生をどのように生きていきたいか、思い描くきっかけになるような講座を企画し、老人福祉センターのPRと新規利用者の拡大を図る。			9	336	9	206	老後あんしん講座は「多治見ストーリー」の協力で、3つの老人センターで実施した。感染状況により参加人数にばらつきがあるものの、講義の内容に関心が高い様子。老人センターのPRすることが出来た。マスク着用、机一台に一人の利用で、ソーシャルディスタンスをとるため、30名の事前予約制とし、30分に1回5分間の換気と、机や椅子の拭き消毒を実施する。講座の内容や要望に応えることが出来るよう、質問時間を設けたり、アンケートを実施した。 ※4月5月は中止した。 6月 生前整理・遺品整理 9月 エンディングノートの記入の仕方 10月 栄養講座 訪問介護・在宅介護・家族で看取り 11月 エンディングノートの使い方 12月 相続・争続について 1月 認知症から財産を守る 2月 エンディングノートの記入の仕方 3月 お葬式とお墓と永代供養
		計	—	—				13	13	16	482	17	314